

## 地域計画

策定年月日	令和7年3月28日
更新年月日	令和8年3月25日(第1回)
目標年度	令和12年度
市町村名 (市町村コード)	宮城県丸森町 (04341)
地域名 (地域内農業集落名)	耕野地区 (川向、茗茄沢、大和沢上、大和沢中、大和沢下、共愛、立石、協栄、金山、入区、芦沢、東部)

## 1 地域における農業の将来の在り方

## (1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	295.4 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	294.9 ha
② 田の面積	129.3 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	166.1 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	6.9 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	10.1 ha
(備考)	

## (2) 地域農業の現状及び課題

・当該地区は、人口減少率や高齢化率が高く、農業者の減少も著しい。このため、未耕作地や耕作放棄地が急激に拡大している。  
 ・中山間地域等直接支払制度に取り組む集落協定の活動を中心に農地を維持しているが、構成員の高齢化が進んでおり、次代の担い手が不足している。  
 ・中山間地であり、耕作条件の良い農地が少ないため、集積・集約が難しい状況である。

## (3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

・現行の主作物(水稲、柿等)の生産を継続し、農家所得を確保するとともに、できるだけ未耕作地を増やさない。  
 ・集落協定の活動や担い手を中心に農地を維持していく。  
 ・旧耕野小学校において、農産物加工場スペースの設置が検討されており、これをきっかけに担い手の確保につなげられるよう検討する。  
 ・幹線道路脇や比較的条件の良い農地についてはしっかりと守っていく。

## 2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
・今後も農業者の減少が続くと予想されることから、地区として将来的に保全が必要な農地を選定していく。 ・上記により選定された農地については、担い手や担い手以外の農業者の意向を把握しつつ、農地中間管理事業等を活用して担い手への農地集積を推進するほか、集落協定による農地保全活動を継続していく。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	5.1	%	将来の目標とする集積率
			70.0 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
地形的な条件や担い手が少ないことから、積極的に集約を進めること難しいが、守るべき農地は担い手に集約していく。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
担い手へ農地を集積・集約する際には、原則として農地中間管理機構を活用するものとし、目標地図を基に農業委員や農地利用最適化推進委員が調整役を担う。
(2)農地中間管理機構の活用方法
農地中間管理事業の活用には、担い手や担い手以外の農業者の意向を把握した上で、生産性の向上や営農意欲の増進につながるよう配慮する。
(3)基盤整備事業への取組
計画なし。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
地域内外から、多様な経営体を募り、本人の意向を踏まえながら担い手として育成していく。なお、育成に当たっては町や県、JA等と連携を図るものとする。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
計画なし。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input checked="" type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他
<b>【選択した上記の取組内容】</b>				
①駆除隊による有害鳥獣の捕獲を徹底するとともに、防護柵の設置や被害に遭いにくい作物を選定し、鳥獣被害を防止する。				
②価格が高止まりしている農業資材の使用低減や環境に配慮した持続可能な農業を実現するため、減農薬・減化学肥料栽培を推進する。				
⑤旧耕野小学校において、農産物加工場スペースの設置が検討されているため、柿の生産を維持できるよう病害虫対策を推進する。				

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 12 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
			1.9 ha	- ha		1.9 ha	- ha	A	-
			2.0 ha	- ha		2.0 ha	- ha	B	-
			2.6 ha	- ha		2.6 ha	- ha	C	-
			4.0 ha	- ha		4.3 ha	- ha	D	-
			2.2 ha	- ha		3.0 ha	- ha	E	-
			2.0 ha	- ha		3.3 ha	- ha	F	-
			0.5 ha	- ha		0.5 ha	- ha	G	-
			0.0 ha	- ha		7.7 ha	- ha	H	-
計	8経営体		15.2 ha	- ha		25.3 ha	- ha		-

※個人が特定されるおそれがあるため、属性・氏名・経営作目等は非表示としています。

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)